

令和元年度 西伊豆町教育委員会第3回定例会

- 1 開催日 令和元年6月12日(水) 14:45 ~ 15:15
- 2 場 所 西伊豆町中央公民館 1階 講義室
- 3 出席者 清野裕章教育長・山本久美子委員(職務代理)・鈴木秀輝委員・
森本仁子委員・眞野有吏委員
[事務局 高木光一]
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし

教 育 長：本日の出席者は5名です。過半数に達していますので、ただ今から令和元年度第3回の定例会を開催いたします。まず、「議事録の承認について」ですが、令和元年5月22日開催の令和元年度第2回定例会の議事録については、私と眞野有吏委員が確認し署名いたしましたので、ご承認いただいてもよろしいでしょうか。

(委員：全員異議なし)

教 育 長：次の議事録署名委員ですが、山本久美子委員にお願いしたいと思います
が、よろしいでしょうか。

(山本委員：了解)

教 育 長：次に議題に入りますが、本日は日程3の報告のみとなります。では、「学校等再編計画にかかる進捗状況について」事務局から説明をお願いします。

高 木：では、お手元の日程3の報告、「学校等再編計画にかかる進捗状況について」をご覧くださいと思います。こちらにつきましては、今年度の検討状況等を取りまとめたものになります。紙面の上からご説明させていただきますが、平成31年4月1日に教育委員会事務局の方に施設整備係2名と学校等再編専門員として、齋藤良久先生を臨時職員として配置をしております。4月2日には教育委員会事務局内の学校等再編協議ということで、経過の確認、組織図、統合だより等々の協議をしております。4月10日には町内校長会で準備委員会設立組織図の説明、同日、学校等再編について教職員対象の説明会を西伊豆中学校、賀茂中学校、賀茂小学校、4月15日には仁科小学校、4月19日に田子小学校で行っております。また、4月16日には統合に関するアンケートの依頼を行いました。次に令和元年5月8日になりますが、町の一貫教育研究会の代表者会議におきまして、一貫研の活動内容の見直しを提案し、今年度につきましては学校等の統合を優先させていただき旨の話をさせていただきました。5月9日には第1回文教施設等整備委員会を開催いたしまして、今後の子供の数の推移、学校等再編について概要、組織、スケジュール、アンケート等について説明をさせていただきました。5月15日には第1

回の中学校統合準備委員会、こちらは令和元年度それから2年度の統合の基本方針の確認、そして学校統合に向けての組織および活動計画の確認、タイムテーブルの確認も併せて行っております。同日になりますが、町の一貫教育研究会の全体会におきまして一貫研の活動内容の見直し、先ほども申し上げましたとおり、今年度は統合に向けて活動することの承認をいただいております。5月20日ですが、専門委員による事務の連絡会を行っております。同日ですが幼稚園の今後の施設整備、統合園に関する整備ということで、松崎町の幼稚園の視察に施設整備係と園の代表者が行っております。それから給食統合の関係になりますが、5月24日、給食施設の統合協議ということで栄養士も含めての協議を行っております。5月27日ですが、こちら入札会ということで文教施設等整備計画に伴う造成基本計画、それから地質調査、業務委託の入札が行われまして、5月29日に契約しております。5月30日には静浦の小中一貫校の視察を行いまして、教育長、町内校長の他、事務局職員も同行させていただいております。6月12日には第2回の中学校統合準備委員会を行っております。

その他一番下に記載されていますが、平成31年4月23日から令和元年5月21日までの間で、工事用仮設道路に係る用地について借地交渉を施設整備係が行っております。ご承諾いただけない方もおりますので、引き続き交渉を続けている状況です。

本日は中学校統合準備委員会を開催することになっておりまして、齋藤専門委員が対応いたします。

教 育 長：ただ今の説明に対しまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いいたします。

鈴木委員：一番下の工事用仮設道路というのを初めて見て、どういうふうにするのかと思ったがバス停の方からか。

高 木：以前、お話しさせていただいたと思いますが、当初は築地橋バス停から拡幅工事をしていきたいと話したと思いますが、造成工事、建設工事、取り壊し工事を早期に進めるには、当初の案ですと不都合を生じる可能性があるということで、県道から西伊豆中体育館の付近に通す工事用道路を新たに建設したいと考えております。仮設道路のみとするか、開校後は通学路として大型バスも通れるようにするかは検討中であります。ただ先ほど申し上げたとおり、土地利用の承諾が得られていないところもありますので、場合によっては少し候補地をずらすことも検討しなければならないと考えております。相続人がはっきりしない土地もありますので、その辺も見極めながら協議を重ねております。

鈴木委員：すごい工事になりそう。田子中学校の時はこんなにやらなくても校舎は建設できたが、今度は造ったら相当なトラックが入ると思う。

高 木：そうですね。縦貫道の残土を運んで4m嵩上げする計画をしております

が、嵩上げ部分は、園舎、園庭の部分を考えております。いずれにしても 10 t ダンプが入るようになりますので、近隣住民の方への振動等を考えた時には、現道ではなく新たな道路を通した方が良いのではないかと考えております。新設道路を最初から通学路用として整備しても、工事用道路として使用すると 3、4 年でダメになってしまうということです。通学路として使用する場合は、建設工事が終わった段階で再整備するようになるかと思えます。2024 年に一貫校が建設されて、それと同時に仁科小学校校舎、体育館、プール等の解体になりますが、子どもたちの安全も考えた場合、仮設道路として造った道路を通学路とし、取り壊し工事の搬出は築地橋バス停からの現道を使用することも施設整備係が中心となって検討しているところでございます。

教 育 長：統合の関係で職員がプラス 1 名になります。統合の前の年と統合した年、そしてその翌年、西伊豆中学校か賀茂中学校のいずれかにつくということで、今のところ西伊豆中学校が昨年から今年にかけて学級減になって、いろいろな制度の関係で職員がマイナス 2 名となりました。そこに加配が 1 名加わって、取りあえず今のところは昨年比マイナス 1 名でできておりますが、来年度になれば加配のプラス 1 名が外れるだろうと思えます。そこへ統合の為の加配が入れば、マイナス 1 名で継続できるだろうと計算がたちますので、西伊豆中学校の方へと加配をつけるというかたちで計画を立てています。その加配の時期につきましてはこの 6 月議会で設置条例の改正を行わなければプラス 1 名がもらえないというようなことで、議会に提出し、議会の方は全会一致で統合という形で賛成をいただきました。町内ではまだまだ、どうかという声も入ってきておりますが、少なくとも保護者段階でのアンケートを実施したものでは、かなり積極的に推す声が強かったですし、議会の方も今申し上げたとおり、かなり背中を推す声が強いという状況です。静浦小中一貫校については、事務局で 1 月に視察に行っております。そして 5 月 30 日は事務局と町内の校長先生全員でそちらの視察に行ってきました。1 年 10 か月後の中学校統合は、4 年 10 か月後の小中一貫校を見越した準備でなければ無駄になりますので、そのイメージを職員全員が共有する為には、先行事例である静浦がモデルになるだろうということで確認してまいりました。そして今日が第 1 回の準備委員会が行われ、もう終了した時刻だと思いますが、これから部会に分かれるわけですが、その前に二つの部会が合同で話し合うということです。

高 木：再編にむけての教育委員さんの要望等あればお伺いできればと思います。

鈴木委員：肅々と準備は進んでいるが、仁科の方では 1 度賀茂中学校に移動して、戻ってくる時になったら、それは嫌だという人が出るのではないかという人もいた。

高 木：建設計画が滞りなく進めば戻るようになると思います。町としましても

いかに町の財政的負担を少なくしてより良い学校を造っていくかということを考えなければいけないと思います。町民の皆様から税金をいただいている中で建設をしていきますので、国の補助金、起債等活用しながらやっていきたいと思っております。工事の中には補助金の対象にならないものもいくつか出てきておりますので、県庁に行き補助金の事前協議を行って来ましたが、なかなか厳しいことも言われております。これからの西伊豆町にとって、教育だけでなくいろいろなところで財政的に負担になる部分がありますので、学校建設も出来る限り財政負担を少なくするように進めていきたいと思っております。町負担が10億を超えることも考えられるかと思っております。学校統合すると今のランニングコストから1年で1億円くらい削減できる試算をしております。出来るだけ早く統合し財政負担を減らすことも必要と考えております。また、現在地盤調査も行っておりますが、あの辺りは昔、川だったという話も聞いておりますので、地盤改良とか、杭を長くする必要があったりすると、工事費が膨らむ可能性もあるかと思っております。

森本委員：中学統合後の部活動などはもう考えてあるのか。

高 木：準備委員会の中での検討になっておりますが、今ある部活は維持されると思います。

鈴木委員：今では不登校の子、部活動でうまくいかない子等、必ず出てくる。以前西伊豆中学校にあった文化部がひとつあると良いかなと思う。

高 木：そこは、統合準備委員会の方に教育委員さんから意見があると伝えられます。

眞野委員：統合した後に、統合してよかったとなるようになれば良いと思う。

高 木：静浦ではそういう話があったということです。

教 育 長：不登校については減ってはいないけれど、他校で増えている中で横ばいであるという説明がありました。

高 木：普段は気が荒い子たちも、統合して優しくなったという話も聞いております。

教 育 長：1年生から9年生まで揃った関係で、中学生年代の子たちが下の子に対して優しくなったということです。

眞野委員：まだ先ですが、そういう何かが出てくると良い。

教 育 長：統合して人数は確かに増えるのですが、そこからはまた減り続けていきますので、その付加価値を考えなければいけないということで、小中一貫校が出てきたわけですので、そうして良かったなと思えるような、そういう成果が欲しいと思います。

鈴木委員：静浦も元々漁場の街で、沼津市内の学校に通うと子どもたちが勉強に対する姿勢が少し不一致みたいで、校長先生も大変苦慮していた。そして今度の校長先生も頑張ったと思う。

教 育 長：静浦は小中一貫校で併設型。土肥の義務教育学校も丸々1つと、制度上

の違いがあるのですが、中身はほとんど同じです。西伊豆中学校に、土肥でやっていた先生がいまして中学年の主任をやっていたということで、そこらあたりからも具体的に進めるうえでの情報は入ってくるかと思います。

高 木：4月から事務局内でも統合に向けて、施設整備係は施設整備に関する様々な案件を、学校教育係は通学バスをどうするか、東海バスとの調整や大沢里地区からの通学方法等の検討段階に入っております。来年度になるとバタバタするので、今年度中にある程度の筋道は立てたいと思っております。

教 育 長：特に意見がないようでしたら、「学校等再編計画にかかる進捗状況について」の報告を終了といたします。本日の議事案件は終了となりますので、令和元年度第3回の定例会を終了します。皆様、お疲れ様でした。